

エコと人をつなぐマイロードマガジン vol.10

企画・発行 / 東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所
電話 / 045-352-3771 (代) 平成22年11月発行
©東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所 2010

ドラぶら

高速料金・ルート検索や渋滞予報カレンダーなど、
全国の高速道路の便利な情報が満載です。
お手持ちの携帯電話でQRコードを読み取るか、
下記のホームページにアクセスしてください。



ドラぶら【モバイル版】

<http://m.driveplaza.com/>

E-NEXCOとは?

東日本高速道路株式会社の英語表記「East Nippon Expressway Company Limited」の頭文字から生まれたブランドネームです。また、同時に私たちの姿勢や熱意を示した「みち」の先へを示す「Next(次なる)」と、「Co(「共に」を意味する接頭語)」の2つの言葉を含んでいます。

E-NEXCO

よこはまナビ

TAKE FREE

特集 **1**

『Eグランプリ』開幕!!
めざせ、エコドライブの達人

特集 **2**

発見! エコぐるめ
食の宝石箱 三崎ナビ



表紙絵: 歌川広重『東海道五十三次 川崎』

<http://www.e-nexco.co.jp>

あなたに、ベスト・ウェイ。





中央道 (首都圏中央連絡自動車道)

中央道は都心からの放射状道路を結び環状道路です。首都圏の主要な道路と連携して、渋滞の緩和や環境改善、沿線都市間の連絡強化など、多くの役割を担います。



オススメ! 紅葉名所ガイド

- 1 三溪園**
 横浜市内で随一の紅葉スポット
 11月中旬～12月中旬
 横浜市中区本牧三之谷 58-1
 首都高速 本牧ふ頭出入口から約3km
 入園料 500円 500円/1回
- 2 瑞泉寺**
 周辺も紅葉ヶ谷と呼ばれる紅葉の名所
 11月下旬～12月上旬
 鎌倉市二階堂 710
 横浜横須賀道路 朝比奈ICから約5km
 拝観料 200円
- 3 鶴岡八幡宮**
 源平池で見る紅葉は格別の趣
 11月下旬～12月上旬
 鎌倉市雪ノ下 2-1-31
 横浜横須賀道路 朝比奈ICから約6km
 400円/1時間
- 4 円覚寺**
 総門前や山門の紅葉が見どころ
 11月中旬～12月上旬
 鎌倉市山ノ内 409
 横浜横須賀道路 朝比奈ICから約8km
 拝観料 300円 600円/1時間
- 5 仮根坂切通**
 野趣あふれる紅葉には一見の価値あり
 11月下旬～12月上旬
 鎌倉市扇ガ谷
 横浜横須賀道路 朝比奈ICから約8km
- 6 長谷寺 (長谷観音)**
 期間限定でライトアップも実施!
 11月中旬～12月中旬
 鎌倉市長谷 3-11-2
 横浜横須賀道路 朝比奈ICから約9km
 入山料 300円 300円/30分
- 7 宮ヶ瀬湖**
 南側の大棚沢の景観がオススメ!
 11月中旬～下旬
 清川村宮ヶ瀬
 東名高速 厚木ICから約23km
 無料
- 8 大山寺**
 紅葉に囲まれた美しい参道
 11月中旬～下旬
 伊勢原市大山 724
 東名高速 厚木ICから約14km
 有料 (公共の交通機関をご利用ください)

凡例

	NEXCO東日本の担当路線
	NEXCO中日本の担当路線
	NEXCO東日本横浜工事事務所の担当路線
	中央道(さがみ縦貫道路)供用区間
	中央道(さがみ縦貫道路)事業中
	NEXCO中日本事業中
	国土交通省の担当路線
	その他の有料道路
	国道
	県道・都道

- 今号のナビスポット!
- A 新六郷橋
 - B 品濃一里塚
 - C 横浜自然観察の森
 - D 三崎港

本誌発行の目的
 本誌は、NEXCO東日本 横浜工事事務所が発行する広報誌です。本誌を通して、道づくりや環境について、皆さまと共に考えていきたいと思っています。

過去と未来をつなぐ道

道に人あり、歴史あり



神奈川を横断する東海道には9か所の宿場があります。

第一回 神奈川の背骨—東海道—

道路はいつから生まれたのでしょうか？それは、古代の人間が食料を探し求める“けもの道”から始まったと言われています。つまり道は人類の文化の歴史と共に生まれ、道を知るとは人を知ることにつながるのです。この連載では“道と人”について、時代を飛び越えた様々な視点から見つめていきます。

すべての道は江戸に通ず

神奈川を背骨のように横断する旧東海道。これは1601年に徳川家康が制定した、日本橋と京都を結ぶ重要な道でした。

「海外にも『すべての道はローマに通ず』という言葉があるように、その時代の首都と主要都市の間には、それをつなぐ大きな道ができます。江戸時代なら将軍が住む江戸と天皇が住む京都。この二つの主要な都市の間は人々の往来が頻繁になってきます。そこを、できるだけ近いルートを通るように作られたのがこの東海道なんです」

そう話すのは、神奈川東海道ウォークガイドの会副会長の舟津紘一さん。道路の存在は、その時代の人間が生きる歴史背景抜きには語れないものだといいます。

「例えば鎌倉時代には、各地方から鎌倉に通じる鎌倉道というものがたくさんできました。東海道も徳川家康が天下の覇権を取り、江戸が首都になったからできた政治の道だったんですね」



保土ヶ谷宿と戸塚宿の間にある品濃一里塚。



神奈川東海道ウォークガイドの会副会長の舟津紘一さん。

そして、この東海道制定から400年を期に開催されたボランティアガイド養成講座の修了者によって結成されたのが、神奈川東海道ウォークガイドの会。舟津さんは会の活動をする傍ら、日本橋から京都まですべての道のりを踏破しました。その中で気づいた道の魅力を教えてもらいました。

「歩いていると昔の面影が残っているとところもありまして、楽しかったですよ。ただ、会が始まってからの10年間でもずいぶん景色が変わってきました。旧道が残っている場所もだんだん少なくなっているようです。それでも、大磯の松並木には昔の雰囲気がありますし、品濃一里塚などは昔と変わらない姿が残っています。それに神社や仏閣を訪ねると、知らなかった伝説や言い伝えなど色々な面白い話が伝わっていますよ」



本誌の表紙絵にもなった歌川広重作『東海道五十三次 川崎』。

左記の絵が描かれたと思われる場所から撮影した、現在の景観。



神奈川の入り口—川崎宿—

歌川広重が東海道五十三次に描いた神奈川の入り口。それは六郷川(多摩川)を船で渡る人々の姿でした。

「東海道は最初から五十三次があったわけではありません。川崎宿も1601年にはできておらず、当時は品川宿から六郷川を渡って、次の宿場は神奈川宿でした。この間は約20kmと遠かったんです」

と話すのは神奈川東海道ウォークガイドの会の会長を務める藤森則昭さん。頑強な橋の上を車が行き交う現在の風景と見比べると、当時の人々の苦勞が偲ばれます。



神奈川東海道ウォークガイドの会が東海道をご案内。

「人足と馬は六郷川を渡り神奈川宿まで行って荷を降ろし、また荷を受け継いで品川に行く。これが大変な負担でした。それで、間に宿場を置いて欲しいと散々幕府に話をし、22年後にようやく川崎宿ができました。このように、それぞれの宿場には色々な成立・発展の経緯があります」(藤森さん)

歴史を知ることが東海道をより楽しむためのポイント。同会にも東海道に魅了された多くの人引きつけられているようです。

「4月の日本橋から翌年3月の箱根まで、毎月お客さんを募集して宿場をご案内しています。今年4月の日本橋には229人の参加者が集まり、その後も180人ほどの方が参加されています」(舟津さん)

今も昔も人々をつなぐ魅力あふれる道。それが東海道なのです。

高速道路と古代の道

東海道という道の歴史は、道筋を変えながら、律令国家の時代へと廻ります。そして、東海道を含む古代の道“七道駅路”には、現在の高速道路との驚くべき共通点が隠されていました。

「道路技術者だった時、工事の際によく国分寺跡や国府跡にぶつかることに疑問を抱きました。古代の道のルートがあちこちで今の高速道路のルートに重なるのです」

とは道路文化研究所の理事長、武部健一さん。現在の高速道路は主要な都市と目的地をできる限り



道路文化研究所理事長の武部健一さん。

の最短距離で結んで造られています。古代道路もまた中央の都と諸国の国府を最短距離で結んだ非常に計画性の高い道だったことが、この事実から窺い知れます。

古代、近代、そして現在。道の姿は変わっても、それを造り、利用する人々には変わらぬ思いがあるのかもしれない。

海を渡る伝説の道—古代東海道—

古代の東海道は海を渡った!? 三浦半島の走水に伝わるヤマトタケルノミコト伝説と古代東海道の謎をお伝えします!!



走水神社

エコハイクの ススメ!



エコや自然への関心が高まる近年、愛好家が増えてきているエコハイク(エコ・ハイキング)。これは自然に親しみながらエコを学ぶことのできるオススメのレジャーですが、一方では正しい知識を持って行動しないと、時に自然に負担を与えてしまうことも…。そこで、自然を存分に味わいながらエコを楽しむための重要なポイントをご紹介します!

「自然は大好きだけど、森をただ歩くだけでなくもっと鳥や虫たちと触れ合いたい。そんな方も多いのではないのでしょうか。来園者の皆さんと生き物たちの距離がぐっと近くなるように、お手伝いできればと思って活動しています」
と話すのは、横浜自然観察の森の運営を受託している(財)日本野鳥の会のレンジャー大久保香苗さん。子供時代から森や生き物に親しんでいたという大久保さんにとっても、森の中には様々な発見があふれているようです。
「ちょっとしたコツをつかむこと



横浜自然観察の森では“友の会”というボランティアのグループも、森の環境を守るために大活躍!

ができれば、木や草の中に隠れる小さな生き物たちの姿に出会うことができるんです。そんな“魔法のような気づき”を森に来られた方に伝えられると嬉しいですね」

自然を楽しむ道具とは?



横浜自然観察の森のレンジャー、大久保香苗さん。

「自然を観察する時に使う道具とは、どんな物だと思いますか?」
大久保さんの問いかけには、意外な答えが待っていました。
「それは“目”です。よく見てみると、一見、緑色に見える森の中には、様々な色が隠れています。次は“耳”。森の中で目を閉じて、10秒間聞いてみましょう。鳥の声や風の音、街中とはかなり

違った音が聞こえてきます。そして“鼻”です。葉を少し揉んで嗅いでみると独特な匂いがあるものもあって、新しい発見がありますよ。最後は“手”です。木の幹を触ってみるとひんやり冷たかったり、見た目と違う印象があります」

そう、エコハイクには特別な物は必要ありません。私たちの諸感覚そのものが自然を楽しむための道具になるのです。そして、私たちはさらに大切な道具を持っている、と大久保さんは言います。

「実は“ハート”なんです。生き物に出会うためには、生き物の気持ちになってみるということがすごく重要です。もしも自分が虫だったら、ノウサギだったら、隠れそうな場所を探してみる…とい



ミズヒキの小花は上から見ると赤色ですが、裏返すと白色が隠れています。



虫を優しく捕まえてじっくり観察。そのあとは元いた場所に放しましょう。

うように、生き物の気持ちで考えてみると面白いですよ」

心と体で自然を感じて、たくさん“気づき”に出会う。それがエコハイクの一番の魅力です!

自然を守る四つのポイント

自然を存分に楽しむためには、守らなければならないルールがあります。その四つのポイントを大久保さんに教えてもらいました。
「一つ目は生き物を持ち帰らないこと。虫かごの中に同じような環境を作れると感じられるかもしれませんが、生き物の視点から見るとまったく違う環境だからです。二つ目は生き物を持ち込まないこと。この横浜自然観察の森でもアライグマやタイワンリスなど外から持ち込まれた生き物が繁殖してしまいました。そうすると、もともと暮らしていた生き物たちが住みづらい環境になってしまいます」
残る二つも大切なポイントです。
「三つ目は道(トレイル)を外れないことです。トレイルの外は生き物たちの世界。そこに踏み入れると生き物たちを脅かしてしまい

エコハイク四か条

1. 生き物を持ち帰らない
2. 生き物を持ち込まない
3. 道(トレイル)を外れない
4. ゴミは必ず持ち帰る

ます。それに、人が歩くことで地面が固くなって、植物も芽がだせなくなってしまうんです。そして四つ目は、ゴミは必ず持ち帰ることです。まず、プラスチックなどは分解されずにゴミとして残ります。また、生ゴミなら捨てていい、というわけではありません。生き物によくない影響を与えますし、分解される速度も追いつきません」
これらをしっかりマスターすれば、自然を守りながら楽しむための準備は万端。さあ、皆さんもエコハイクに行きませんか!?



木の幹に入った横スジは、タイワンリスが冬場に木の汁をなめるためにかじった跡。

横浜自然観察の森 自然観察センター

自然観察センターにはレンジャーが常駐し、森の見どころや季節の生き物情報のご案内をしています。

開館: 9:00~16:30
休館日: 月曜日(祝日の場合その翌日)
年末年始(12/28~1/4)

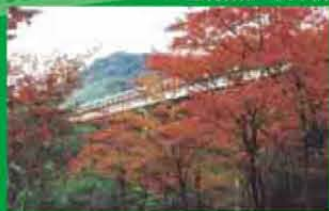
所在地: 神奈川県横浜市栄区上郷町1562-1

詳しくは<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

探検! エコロード

釜利谷第二高架橋

エコロードとは、自然環境や動植物に配慮した道づくりのこと。横浜横須賀道路では約20年前から自然にやさしい道づくりを目指した様々な取り組みを行い、それが「よこかんみなみ」でも活かされています。E-NEXCOは自然を満喫しながらこのエコロードを探検できるエコハイクの取り組みも行っています。皆さんも少しだけ一緒に“探検”してみませんか!?



自然あふれる釜利谷地区はエコロードの宝庫。例えば釜利谷第二高架橋は工事で変化した環境を自然な状態に戻

すために動植物が生活する空間“ピオトープ”として整備され、今では多くの生き物が見られるようになりました。また、釜利谷ジャンクションに隣接している“ひょうたん池”は、横浜環状南線の建設でなくなる予定なので、生き物たちにとって貴重な水辺を保全する目的で、上流に“新ひょうたん池”が整備されました。他にも道路の“のり面の森”や“ホタル水路”など見どころが満載。たくさんの工夫によってエコロードは作られているのです。



造成直後(1999年)の新ひょうたん池。



9年後には生き物が集まる水辺に。

『E1グランプリ』開幕!! めざせ、エコドライブの達人



横浜市では実際に体験できる
エコドライブ診断の試乗会も
随時開催です。

環境にも家計にも優しい“エコカー”は、電気自動車やハイブリッドカーだけではありません。実はちょっとしたエコドライブのコツをつかめば、どんな車も“エコカーになる”のです。日産自動車と横浜市の共同事業によって“開幕”したE1グランプリには、楽しくエコドライブをするためのコツが満載。その秘密をお届けします!!

4万人で燃費競争!

E1グランプリとは、日本中のドライバーとエコドライブで燃費を競い合えるプロジェクトのこと。Webサイトに登録することで、自分の燃費の推移はもちろん、車種や地域、年代ごとの様々な燃費ランキングがひと目でわかります。「仕組みはレコーディングダイエットに似ています。記録をつけて、燃費が向上する成果が目に見えることで、燃料の消費を減らしていくことができます。楽しみながら燃費競争をしたり、自分の目標を達成する場として、昨年9月に立ちあがりました」

そう話すのはE1グランプリを手がける日産自動車の佐藤康治さん。ドライバーにとって、最もわかりやすいエコドライブの効果が燃費の向上。実際に2007年から



日産自動車 電子技術開発本部の佐藤康治さん。

日産自動車が行っているエコドライブのサポートサービスでも、その効果は抜群だったそうです。

「サービスを積極的に使っているお客様は、燃費が平均で約18%も向上したんです」(佐藤さん)

約2割の燃費UPとは、まさにエコカーも同然。これが誰でも参加できる形に発展したのがE1グランプリなのです。現在、参加者は4万人(公称)を突破し、今後は企業向けサイトも計画中です。

「企業の方にとっても、エコドライブは経費節減や事故防止につながります。会社で得た“エコ心”を家庭に持ち帰り、車に楽しく乗りながら、エコに近づいていただけたら嬉しいですね」

とは、横浜市の交通環境対策課、望月ゆかさん。“楽しいエコ”がE1グランプリの魅力なのです。



横浜市 交通環境対策課の望月ゆかさん。

- 1: ルート計画を立てよう!
あらかじめ渋滞情報や走行ルートをチェックして、燃料と時間を節約。
- 2: タイヤの空気圧をチェック!
空気不足のタイヤも、燃費悪化の原因に。定期的に空気圧の点検を。
- 3: 積む荷物を確認しよう!
燃費は荷物の重さに敏感。必要のない荷物は下ろして身軽なお出かけを。
- 4: エンジンのかけっぱなしに注意!
寒冷地など特別な状況を除けば、現在の車は暖気なしでもOK。
- 5: ふんわりアクセルで「eスタート」
最初の5秒で時速20キロが目安です。安全運転にも効果的!

E1グランプリのコツ

- 6: 加減速の少ない運転を
できるだけ速度変化の少ない安全運転を。高速道路やETCの利用も◎。
- 7: 早めのアクセルオフ
停止位置が分かったら早めにアクセルを離して、エンジンブレーキで減速。
- 8: エアコンを控えめに
気象条件に応じて温度・風量の調節を。夏場も設定温度を下げすぎない。
- 9: アイドリングストップ
待ち合わせや荷物の積み下ろしなどの駐車の際は、アイドリングをストップ。
- 10: 駐車場所に注意
交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞と余分な排気ガスを出させる原因に。

エコドライブのコツ

そもそも、エコドライブとはどんな運転でしょうか? 上図のようなポイントの中でも基本となるのは、できる限り定速走行をしてストップ&ゴーを少なくする“加減速の少ない運転”です。それを実践するための運転のコツとは? 「少し先を見た運転をすることで。いつでも2~3台ほど先の車の動きを見ると、信号が変わったり、駐車車両がいることもわかりますね」(望月さん)

参加者に聞く E1グランプリの魅力

E1グランプリの魅力を実際の参加者にもお聞きしてみました。「優秀な方が多くて上には上がると実感しています。皆さんの意識が高いので、自分もエコドライブを心がけなければと感じますね」とは横浜市在住の齋藤英彦さん。E1グランプリに参加したことで、同じ目的で競い合う他の参加者から大きな刺激を受けたそうです。「自己満足の世界だけでやっているとつまらなくなってしまいそうですが、皆でやることで目的が高まって、CO₂の削減やエコにつながっていくと思います」

そして、実際に燃費が向上し、ガソリンを入れる頻度が減ってき



簡単にエコドライブ診断ができる測定機は、横浜市からレンタルできます(市内在住・在勤者のみ)。

ながります」(佐藤さん) また高速道路ならではのコツも。「高速道路では道路情報が表示されています。何キロ先で渋滞があったり、工事を行っていたり。これをうまく活用すると快適な高速走行につながります」(望月さん) これらをマスターすればE1グランプリで活躍できるかも!?



E1グランプリに参加されている齋藤英彦さん。

た、という齋藤さんが心がけているエコドライブのポイントとは? 「エアコンを入れずに、窓を開けて走ることが多いです。あとは、先を読んだ運転をすること。例えば(前方の信号が)赤信号の時ゆっくり走ると、信号が青に変わって止まらずに進める時があります。それは、ある意味快感ですね(笑)」やはりエコドライブの極意は先読み運転にありそうです。ぜひ皆さまもE1グランプリで、エコドライブを試してみませんか!?



E1グランプリ参加方法

E1グランプリには、誰でも、どのメーカーの車種でも、無料で参加できます。また、特別な機器がなくても大丈夫です。

Step.1 ホームページにアクセスして、ドライバー登録をクリック。
<http://e1gp.jp/>

Step.2 下記の三つのやり方から燃費入力方法を選べばエントリーは完了です!

1: 満タン法

ガソリンを満タンにして、距離計をリセット。ガソリンが減るまでいつも通りに運転して、次回の給油の量と走行距離を入力します。

2: 燃料計

運転の燃費が簡単に計測できる燃料計のある車なら、運転するたびに燃料計をリセットして運転後の数値を入力すればOKです。

3: カーウイングス

日産自動車のサービス“カーウイングス”をご利用の方はさらに簡単。IDとパスワードを入力すれば自動で燃費情報が記録されます。

あなたも“めざせ、エコドライブの達人!!”

2 発見! エコぐるめ 食の宝石箱 三崎ナビ

美味しい食事が同時に「エコ」にもつながる!? そんな一石二鳥の「エコぐるめ」のキーワードが「地産地消」です。地元で揚がった魚や地元の野菜をその場所で食べる。すると輸送や保存に使用するエネルギーや排出するCO₂が減り、さらに新鮮な美味しさも味わうことができるのです。第1回目の今回は、食の宝庫である三浦市三崎の「エコぐるめ」をご案内します!

海産物

三崎の海産物といえば、やはり**マグロ**。三崎港には赤身やトロといったおなじみの部位はもちろん、ハチノコ(頭の肉)、テール(尾)など珍しい部位がたくさん!

「昔は食べたことがない部分は美味しくないものとされていて、**身以外は捨てられていたんです**」

そう話すのは、マグロを専門に取り扱う宇田川商店の宇田川景一郎さん。珍しい部位だと味や料理法が心配になりますが…。



マグロの卵。湯がいて甘く煮ると絶品!



宇田川景一郎さんが手に持つのはマグロのハチノコ(頭の肉)。

「自分が食べて美味くないものは売りたいんです。食べてみなきゃわからないので、すべて刺身にして試しています。筋が多い部位は加熱してみたりとか、解凍法から料理法まで美味しい食べ方をお客さんにお伝えしています。**楽しくて美味しいエコ**を味わってほしいですね」(宇田川さん)

余すところなくマグロを味わい尽くすとはまさに「エコぐるめ」。ワタ(胃袋)や卵などを扱う魚勝商店の早建一さんもこう話します。「**他では手に入らない部位**があるのも三崎ならではの。三崎にはマグロの他にも近海で獲れた新鮮な魚がたくさん揚がります。ぜひ見に来てください」

エコぐるめの集まる場所 三崎朝市

毎週日曜日の早朝5時、日の出前から多くの人々にぎわう三崎朝市。ここはマグロや近海魚、野菜などの専門店が立ち並ぶ「**三崎のエコぐるめが集まる場所**」です。

「三崎朝市は1989年に魚市場の倉庫の前に数名が集まって始まりました。今の場所に移った頃には店舗も35~36件に増え、市外のお客さんも来るようになりました。今は地元の方が4割、6割は首都圏からいらっしゃっています」

そう話すのは三崎朝市協同組合の理事長、土山繁夫さん。三崎の魅力とは何でしょうか?



「三崎を観光や癒し、食の町にしていきたい」と、三崎朝市協同組合 理事長の土山繁夫さん。

人のつながりが広がっていくエコぐるめの魅力は、朝市に来られたお客さんにも大好評です。

「先月、夫婦だけで来た時は“まぐるぶっかけ丼”を食べられなかったため、今回はそれを食べるために家族みんなで来ました」

とは、海老名から横浜横須賀道路を通過して朝市に来たという種元さんご一家。その美味しさには驚く効果もあったそうです。

「娘はマグロがそれほど好きではなかったはずなのに、ほとんど食べちゃって(笑)。やっぱり、**その土地で食べるものは美味しいですね**」(種元弘樹さん)



三崎朝市は毎週日曜日の朝5時から9時まで開催(年初の第一日曜日を除く)。詳しくは<http://www.misaki-asaichi.com>

「三崎といえばマグロ。三浦といえば野菜。それを基本に、近海で獲れた魚や他のものも豊富にあります。三崎のすごいところは、ずっとマグロを見続けてきたプロの仲買さんが130人もいること。だから**味に間違いがない**んです。その中で、一匹のマグロから少ししか取れない部位などを朝市で出しているんですよ。また、青木農園さんは新しい野菜を取り入れた珍しい取り組みを行っています。しかも、お客さんが土曜日に農園を訪れて収穫や販売を手伝ってくれているんです。他にはない美味しいものがあり、人の触れ合いもある。そこを含めて**“食の町”三崎の魅力**にしていきたいですね」



「朝市に来るのは今回が二回目です」という種元さんご一家。

多くの人を引きつける、魅力あふれる三崎の「エコぐるめ」。その美味しさを、ぜひ現地で味わってみてください!

農産物

豊かな土壌で育てられた**三浦野菜**も三崎に集まるオススメの「エコぐるめ」。三浦野菜の代表的な農園の一つ青木農園では、様々な珍しい野菜が栽培されています。

「人に勧められたりして作っているうちに、**だんだん種類が増えちゃったんです**。バナナピーマンは冷やしてサラダに。四角豆は天ぷらに。シマオクラは湯がいてからトロロみたいに山かけ丼にすると、これがまた美味しいのよ」

そう話してくれたのは青木正江さん。野菜の味を楽しむ料理のアイデアが次々と飛び出して食欲をそります。でも、農園で作る野菜は自然に合わせた栽培方法であるため、時期が少しずれると種類もガラリと変わります。



青木農園には様々な旬の野菜が並びます。

「三浦のできる時期のものがある。**その季節の野菜をその時期に食べる**。三浦の旬、それしかない」

そう、青木喜一さんは語ります。地元で採れた野菜を一番美味しい旬の時期に食べる。それも「エコぐるめ」のポイントなのです。

三崎港へ行こう!

三崎港周辺には、他にもエコぐるめがいっぱい! 朝市と合わせて、ぜひ直接ご確認ください。

横浜方面から愛車でお越しの方は「横浜横須賀道路」のご利用が便利です。

- 1: 横浜横須賀道路で「衣笠インター」を下車。
- 2: 料金所を過ぎて直進し、「三浦縦貫道路」をご利用ください。
- 3: 国道134号を「三崎」方面に入り直進。県道26号に入れば、まもなく三崎港へ!



よこかんみなみNEWS

横浜環状南線(よこかんみなみ)はどんな道路なの？

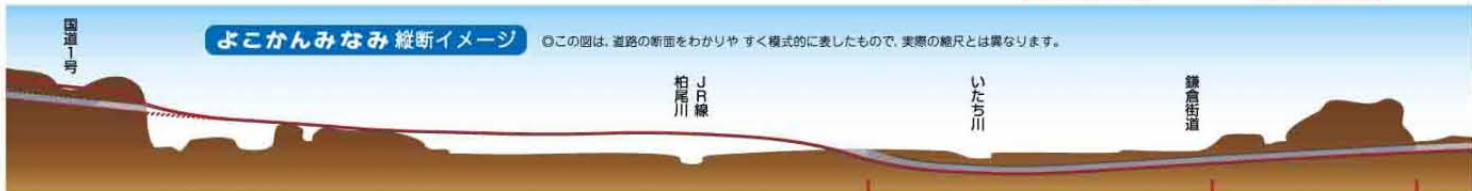
よこかんみなみとは圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の一部で、横浜環状道路の南側区間として、横浜横須賀道路の釜利谷ジャンクションと国道1号を結ぶ、延長約8.9kmの自動車専用道路の予定です。下の図は空から描いた完成予想図と、道路と地形の高さの関係を示した縦断イメージです。

どんな構造をしているの？

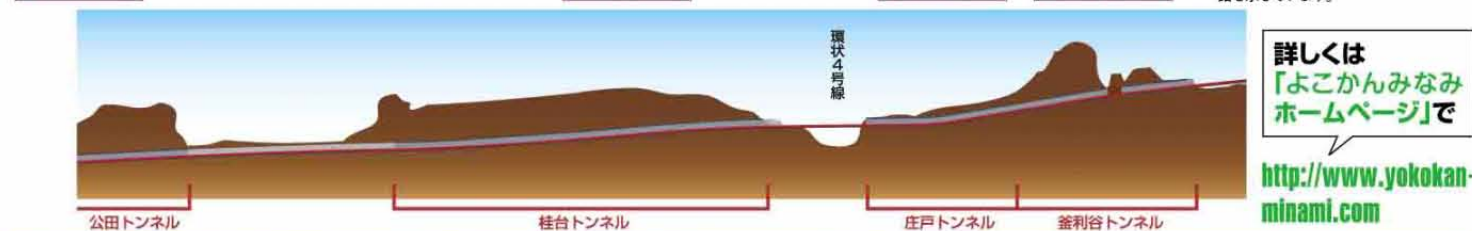
よこかんみなみは全線の約7割がトンネル、または半地下構造です。環境に配慮した様々なエコロードの取り組みが行われています。

開通するとどうなるの？

よこかんみなみなど圏央道が完成すると東名高速や中央道、関越道などと直結されるため、大幅な時間短縮の効果が見込まれています。また、横浜市街地を通過していた車がよこかんみなみを利用することで、市街地の交通混雑の緩和が期待されます。



至 朝比奈インターチェンジ
 ※上図は都市計画を基に横浜環状南線の概略を示した完成予想図のため、実際とは異なる場合があります(道首壁は省略しています)。
 ※インターチェンジ・ジャンクション・換気所・トンネルなどの名称は、釜利谷ジャンクション以外すべて仮称です。
 ※(主)は主要地方道を、(都)は都市計画道路を示しています。

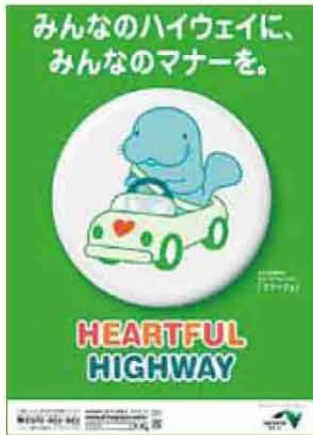


詳しくは「よこかんみなみホームページ」で
<http://www.yokokanminami.com>

みんなのハイウェイに、みんなのマナーを。 NEXCO東日本では高速道路利用時の マナーアップ向上のための取り組みを開始しました。

高速道路をご利用いただいたお客さまから「急な車線変更をされて怖い思いをした」「大型車専用スペースに駐車している小型車を見た」などと高速道路の利用マナーが悪くなったというご意見が多く寄せられるようになりました。

そこで、いつでも「安全・安心」「快適・便利」に高速道路をご利用いただけるよう、「HEARTFUL HIGHWAY「みんなのハイウェイに、みんなのマナーを」」をキャッチコピーにマナーアップキャラクター「マナーティ」ともにお客さまに知って欲しいマナーやルールをお伝えしていく取り組みを始めました。



取り組みの一例

マナーアップキャラクター「マナーティ」が、SAやPAなどに掲示してあるポスターやNEXCO東日本発行のハイウェイウォーカーでマナーやルールをご紹介します。



ホームページではポスターや新聞広告の他、マナーアップ活動報告や高速道路をご利用されるお客さまの「私のマナーアップ宣言！」を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://mannerty.driveplaza.com>

10月20日に首都高速神奈川6号川崎線 (殿町～大師ジャンクション)が開通しました！

これにより、川崎市街から羽田空港や東京湾アクアラインへのアクセスが向上します(川崎駅から羽田空港まで行く場合、平日の朝7時台の所要時間が一般ルートに比べて13分短縮)。また、信号や交差点を通過しないため、停止や発進の少ないエコドライブで環境への負荷を減らすなどの開通効果が見込まれています。



詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。
<http://www.kanagaway.com/k6-kawasaki/>

休憩施設も環境に優しく！ エコロジーへの取り組み

NEXCO東日本は、高速道路がより環境に優しいものになるように、皆さまにご利用いただく休憩施設(サービスエリア・パーキングエリア)でもエコロジーへの様々な取り組みを行っています。ここでは関越自動車道(上り線)三芳PAの休憩施設「Pasar 三芳」で行われている取り組みの一例をご紹介します。

CO₂排出ゼロ！ 【風力・太陽光】発電照明

施設の周囲の照明には、風力と太陽光で発電する照明灯を採用しました。CO₂排出ゼロのクリーンな光が輝きます。



LED照明で 消費エネルギーを大幅削減！

施設の外看板や店舗内の間接照明には、エネルギーの消費量が少ないLED照明を採用しました。



アンケートに答えて プレゼントを もらっちゃおう！

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「E-NEXCO i-MiEVチョコQ」、またはドラえものの「エコバッグ(Heart Leaf・M)」をプレゼント！ハガキに必要事項とご希望の商品をご記入のうえ、2011年1月31日(当日消印有効)までにご応募ください。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。皆さまのご応募をお待ちしております。

A E-NEXCO i-MiEVチョコQ



NEXCO東日本の業務用車として導入した電気自動車(i-MiEV)が可愛いチョコQに！ドラえもんショップでも大好評発売中です!!

B ドラえもののエコバッグ (Heart Leaf・M)



エコバイクやエコドライブのお供にピッタリのエコバッグ。ドラえもんズベルから発売中!

10
名様

ドラえもん
SHOPPING
モバイル



5
名様



24時間、365日、お客さまの声をお聞きしています。

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

PHS・IP電話のお客さま: 03-5338-7524 (24時間) (24時間)